

印西市のシティプロモーションについて



平成31年1月

印西市企画財政部シティプロモーション課

1 シティプロモーション課設置の経緯について

(1) 「印西市シティセールスプラン」の策定

印西市総合計画では、将来都市像「ひと まち 自然 笑顔が輝く いんざい」の実現を目指すための基本目標6「市民と行政がともに歩み健全で自立したまちをつくる」の取り組みのひとつとして、シティセールスの推進を位置付けており、シティセールスの視点から基本計画を補完し、その実効性を高めるためにシティセールスプランを平成28年3月に策定した。



(2) 「印西市シティセールスプラン」のテーマ

市民満足度・重要度調査やグループインタビュー等の結果から、住みやすさ、自然環境、都市機能などについて、全般的に「住みやすいまち」とであると評価されている。

本市で暮らすことについてのこのような評価は、地域への愛着を感じ、地域を誇りに思うことにつながり、新しい人の訪れや定住化に重要な要素となる。

誰もが安心して住めることを前提として、誰もが輝き、いろいろなライフスタイルで、一生涯を印西市で住み続けることができる魅力をシティセールスのテーマとする。

誰もが輝く、色々なライフスタイル、印西市で住み続ける魅力

〈キャッチコピー〉

「ずっと、このまち印西で」



シティセールス
キャッチコピー
ビジュアル

(3) 「印西市シティセールスプラン」実施計画の策定

「印西市シティセールスプラン」は市のシティセールスの推進においての基本的指針となることから、シティセールスの具体的な取組みとして「印西市シティセールスプラン実施計画」を平成30年4月に策定した。



(4) 課名の変更

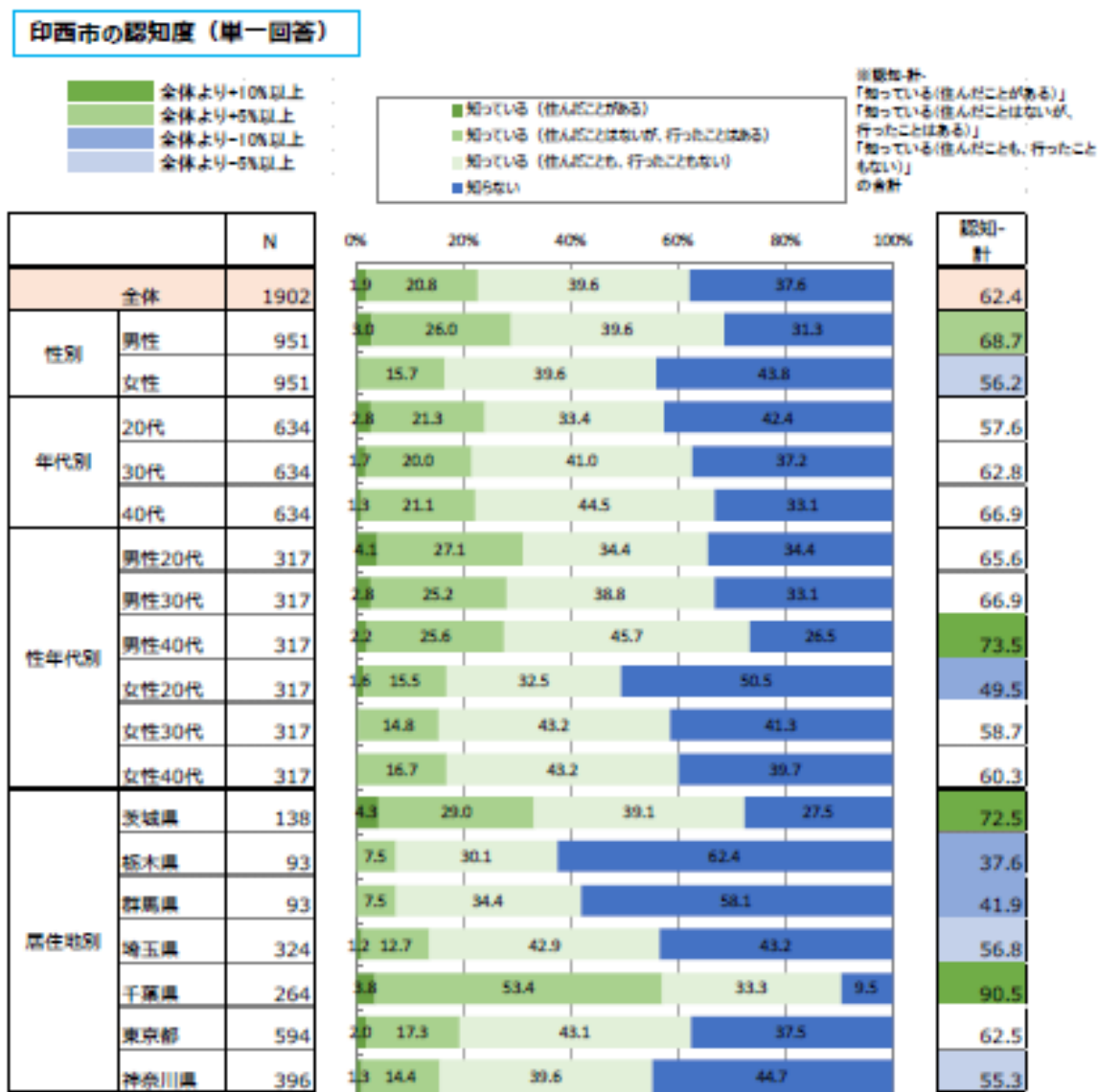
印西市は、平成29年度に「住みよさランキング（東洋経済新報社）」が6年連続で1位となったことや、平成30年度中に人口が10万人を突破する見込みであることなど、順調に発展していますが、将来の財政状況の悪化や自治体間競争の激化に備え、市政の情報発信に継続して注力し、更なる市の発展を目指す必要がある。全庁的な各種イベントやマスコットキャラクターなどによるPRを推進しつつ、印西市の持つ魅力、全国的な知名度向上の促進を図るため、ふるさとづくり推進課を「シティプロモーション課」に名称を変更した。

2 印西市の現状

(1) Web調査の実施

市の知名度向上・居住促進に向けた手掛かりを得るため、関東地方の子育て世代を対象に、印西市及び市内の観光資源・物産の認知度、転居の意向、住みたい街の重視点等を把握するため平成29年10月に調査を実施した。

印西市の認知率は6割を超えているが、市内の名所や物産等の認知度は低く具体的な市のイメージにやや乏しいという結果となった。



3 具体的な取り組み内容

平成 30 年度

(1) 人口 10 万人突破記念事業

① いんざいふるさとまつりの開催

印西市の人口 10 万人突破を記念し、未来に向けて活力に満ち溢れた印西市を市内外にアピールするとともに、ふるさと意識の向上及び市民相互の交流を促進し、積極的なコミュニティの醸成を図ることを目的として人口 10 万人突破記念事業「いんざいふるさとまつり」を実行委員会形式で開催する。

10月13日（土）にイオンモール屋外駐車場で開催。「世界一大きなせんべい」を炭火で焼き、7年ぶりにギネス世界記録を更新。

また、参加者は、4万7千人となった。



※掲載メディア

- 千葉日報 9月7日 煎餅世界一奪還目指す
- 10月14日 巨大煎餅世界一を奪還
- 12月22日 巨大煎餅“世界一”奪還（想像超す難作業こなす）

②人口 10 万人突破記念オリジナル年賀状作成

本市の人口 10 万人突破を記念して市のオリジナル年賀状を 10 万枚作成し、市内の郵便局及び郵便切手類販売所において販売を行う。

11 月 1 日に印西郵便局で販売式をおこなった。

なお、年賀状は 12 月 20 日に 10 万枚が完売した。



③いんザイ君グッズの作製・販売

印西市人口 10 万人突破を記念して、「いんザイ君」ぬいぐるみを 1,000 体作製し、販売及び配布を行う。基本型の座ったいんザイ君に、赤色蝶ネクタイ付きのタキシードを着せる。

作製したぬいぐるみの 800 体を販売、600 体を窓口販売、200 体をインターネット販売とした。12 月 19 日に販売を開始するが窓口販売は開始から 2 時間半で完売する。インターネット販売については次の日には申込みが 200 体に達した。



※掲載メディア

千葉日報	11月29日	(販売)
	12月20日	(完売)
読売新聞	12月12日	
毎日新聞	12月16日	
産経新聞	12月16日	
東京新聞	12月16日	

(2) シティプロモーション

①イルミライ★INZAI

人口10万人突破の記念事業「いんざいふるさとまつり」の実施に併せ、シティプロモーションイベントとして、新たな観光名所を創設し、更なる地域の活性化を図るため、光の装飾「イルミライ★INZAI」を千葉ニュータウン中央駅北口のケヤキ並木に、平成30年10月13日から平成31年1月14日まで実施。

点灯式には、女優の真木よう子さんが来ていただき盛大に行われた。約1千500人の参加があった。

また、10月27日にはハロウィンイベント、12月15日にはクリスマスイベントを実施した。



※掲載メディア

新聞

千葉日報 11月22日

ちば県民だより 1月1日号

ネット

KADOKAWA (walker+)

PRTIMES等



②プロモーション動画作成

印西市の認知度向上及び地域ブランドを確立するため、印西市の魅力を市内外に発信するためのプロモーションコマーシャルを制作し、活用を行うことで、印西市への移住促進を図る。

プロポーザルの結果（株）日本旅行が採用され、（株）ポニーキャニオンと共同で制作を実施。

動画の内容は、自治体プロモーション動画としては特徴的なもので、そのタイトルも「印度じゃないよ、印西市」というように、印西の印（いん）にかけてインド映画をモチーフに、主人公のインド人が印度だと思って来たところ、実は印西であったというストーリー。インド音楽に合わせたダンスによる自治体初のポリウッド（インド）映画風プロモーション動画となっており、印西市民120名による思い思いのインドダンスシーンも収録されている1分27秒の動画。このプロモーション動画を「印西市」を知っていただくひとつのきっかけとして、発信していった。

プロモーション動画の音楽のプロデュースは、野崎良太氏が担当。この動画のために書き下ろされた、自身初の試みであるインド風楽曲は、動画をさらに効果的に魅せている。

なお、監督は、印西市出身の香取徹氏が手掛けている。

11月16日の公開から2週間で10万回を超える再生回数となった。



※掲載メディア

○テレビ

- ・北海道テレビ 情報番組「イチモニ！」 平成 30 年 11 月 21 日放送



- ・ケーブルネット 296 御朱印グルメぐり 平成 30 年 12 月 16 日放送



- ・テレビ東京「ありえへん世界」 平成 31 年 1 月 29 日放送予定

○ラジオ

- ・ベイエフエム「POWER BAY MORNING」チーバレポ
11 月 28 日放送

○新聞

- ・毎日新聞 11 月 17 日
- ・東京新聞 11 月 25 日
- ・千葉日報 11 月 21 日

○雑誌

- ・週刊トラベルジャーナル 1/7・14 合併号
- ・月間広報会議 2 月号

○ネット

- ・日本経済新聞
- ・産経新聞
- ・ねとらぼ
- ・P R T I M E S 他 60 サイト以上
- ・Twitter や facebook で拡散された。

③いんザイ君の活用

印西市マスコットキャラクター「いんザイ君」を活用することでシティセールスに繋げる。

○各種イベントへの出演



- 4月22日 ご当地キャラクター大運動会（千葉こどもの国）
 - 5月6日 NARITAスポーツツーリズム（イオンモール成田）
 - 6月14日 印西市人口10万人突破記念式典（印西市役所）
 - 8月11日 筑波山がまレース2018（筑波山神社）
 - 10月6日 成田スポーツフェスティバル（中台運動公園）
 - 10月13日 いんざいふるさとまつり（イオンモール駐車場）
 - 10月13日 イルミライ★INZAI点灯式（千葉NT中央駅北口）
 - 10月21日 ちばアクアラインマラソン2018（袖ヶ浦公園）
 - 10月27日 イルミライ★INZAIハロウィンイベント
 - 11月1日 年賀はがき販売セレモニー（印西郵便局）
 - 11月6日 柏レイソルホームタウンデー（柏スタジアム）
 - 11月16日 大井競馬場「印西市コスモス賞」（大井競馬場）
 - 11月24日
～25日 世界キャラクターサミット in 羽生 2018（埼玉県羽生市）
 - 12月15日 イルミライ★INZAIクリスマスイベント
- ※このほかにも着ぐるみのみ貸与による出演多数。

○いんザイ君グッズの作成

ボールペン、メモ帳、ラバーストラップ、クリアファイル等の作成。

○いんザイ君グッズの販売

本年度から、各種イベントや窓口にて「いんザイ君グッズ」を販売。



④庁内シティプロモーション検討委員会

印西市の認知度向上及び地域ブランドを確立し、市の魅力を発信することで移住促進を図るためのシティプロモーションについて調査及び検討を行う機関として「庁内シティプロモーション検討委員会」を設置した。

昨年度実施した情報発信効果検討業務の中で実施したWEB調査では、20代・30代の子育て世代へネットを中心とした情報発信を行うことが効果的との調査結果から、子育て環境の良さを重視する20代から30代の女性をメインターゲット層と設定し、情報発信力を高めるため、庁内の20代30代の女性職員10名で組織をした。



⑤柏レイソルホームタウンデー

ホームゲーム開催時にホームタウンエリア内の自治体をクローズアップし、そのまちにちなんだ特産品の販売・配布やイベントを行う。

本年度は、11月6日（火）の鹿島アントラーズ戦で実施。印西市のPRグッズの配付の他、いんざい君でのPR、プロモーション動画の放映を実施した。また、ボールボーイを印西市内の少年サッカーチームに依頼した。



⑥大井競馬場コスモス賞

小林牧場を管理・運営する特別区競馬組合（東京都競馬株式会社）の協力により、大井競馬場において印西市のPR活動等を行い、より多くの人に市の魅力を広く発信する。

本年度は、11月16日（金）に実施。印西市のPRグッズの配付の他、いんざい君でのPR、エキサイティングビジョンでのプロモーション動画の放映。更には、印西市西印旛農業協同組合に協力をしてもらい、農産物等の直売を実施。また、市長、議長、総務企画常任委員長にプレゼンターをしてもらい印西市の特産品を副賞として優勝馬の騎手、馬主、調教師に贈呈した。



⑦その他

○映像支援

- C M ビンゴ5 (松山下総合公園)
マーガリン (牧の原公園)
R-1 (松山下総合公園)
ピジョン (松山下総合公園)
自動車 (東の原)
- 映 画 君は月夜に光輝く (そうふけ公園他)
殺さない彼と死なない彼女 (牧の原、本埜個人宅他)
- ドラマ あなたには帰る家がある (松山下公園)
探偵が早すぎる (印西温水センター)
半分、青い。(大塚の市道)
- M V 神聖かまってちゃん (小林中学校、牧の原公園)
コアラモード (草深の森)
- バラエティ 千葉テレビ千葉デイズ (川巡り、ビッグホップ等)
NHK「もふもふモフモフ」(松山下総合公園)

○ラジオ放送

平成30年9月28日 NHKひるどき情報ちば「発信!わがまち」
イルミネーションと「いんぎいふるさとまつり」について

○地上波テレビ

平成30年5月29日
NHKの首都圏ネットワーク「人口10万人突破」



○Z I P

平成 30 年 7 月 11 日

日本テレビ Z I P ハテナビ「千葉県印西市何がよい？」



○千葉日報

平成 30 年 9 月 26 日

人口 10 万人突破記念として千葉日報の一面に掲載

祝 人口10万人突破

ずっと、このまち印西で

祝 人口10万人突破おめでとうございます

北総警備保障株式会社 | 竹内建設株式会社 | 印西遊技場組合

Honda Cars 最新車種一挙発表